

# 落ち葉でつくったぼく・わたしの顔 ～季節を感じて造形遊び～

[5歳児]



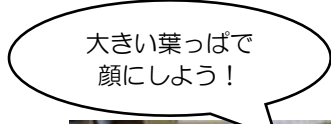
この葉っぱ  
黄色くなってる！



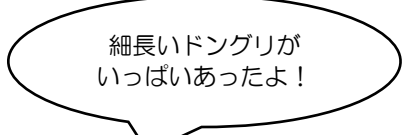
大きい葉っぱあった！  
これ使えそう！！



葉っぱぺったんこに  
なるかな？



大きい葉っぱで  
顔にしよう！



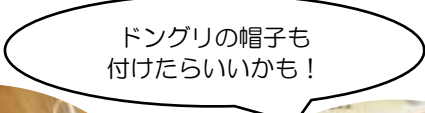
細長いドングリが  
いっぱいあったよ！



どんな顔に  
しようかな？



いろいろな顔ができたよ



ドングリの帽子も  
付けたいかも！



何個あるかな？  
1・2・3...



秋のポケット図鑑をもって園内で秋見付けをしました。「この葉っぱ細長い！」「葉っぱ黄色くなって  
る！」などと友達と伝え合いながら探し、秋の自然物に興味をもっていたさくら組の子供たち。学級で拾  
ったものを見せ合う中で、落ち葉の色や形、匂いなどの違いに気付いている姿も見られました。集めた草  
や葉っぱを何か活用できないかと話し合い、『葉っぱで顔をつくってみよう』ということになりました。  
そこで、「もっと大きい葉っぱがいる！」「髪の毛もいるやん！！」と気づき、それぞれ必要な草や葉っぱ  
を再度集め、自由画帳に挟んで押し花のようにして準備をしました。後日挟んでいた草や葉っぱを使って  
顔をつくり、大きい葉っぱを顔に見立てたり、葉っぱを並べて輪郭をつくったりと、それぞれの個性溢れ  
る顔が出来上がりました。広高浜公園でも秋見付けをし、集めた葉っぱやドングリなどの数を数えたり、  
つくった顔の周りに装飾したりしました。身近な自然と触れ合いながら、色や形、数などに興味をもつた  
り、友達と伝え合ったりすることができました。また、どこにでもある草や葉っぱを活用し造形遊びをす  
ることで、自然を身近に感じ、創造力（豊かな感性や表現をつくり出す力）が育まれたのではないかと  
思います。